

授業が楽しい日進北小

日進北小では本年度のキャッチフレーズに「やる気を育む日進北小」「授業が楽しい日進北小」を定め、主体的・対話的で深い学びの実践に向けて授業改革に取り組んでいます。また、研修主題を「自分の思いや考えを言葉や図表になどまとめ、分かりやすく伝えることができる」児童の育成としています。

ここでは様々な工夫された授業をご紹介します。

掲載している授業：

[6月27日（月） 3年4組 算数 「あまりのあるわり算」](#)

[6月22日（水） 5年1組 国語 「町じまんをすいせんしよう」](#)

[トップページに戻る](#)

6月27日(月) 3年4組 算数 「あまりのあるわり算」の授業です。

教師のねらい

- ・既習をもとに、図や式、言葉を使って自分の考えを表現させたい。

本時で目指す姿

既習をもとに、図や式、言葉を使って自分の考えを表現し、友達に説明できるようにする。

授業の方法・流れ

- ・既習の問題で図、式、言葉で表すように練習
- ・学習問題 「ゼリーが14こあります。1人に3こずつ分けると、何人に分けられますか」
- ・課題(課題を子どもたちで決めることで意欲をもたせる)(3人組で決める)
「九九の表に答えがないわり算の計算の仕方を考えよう」
- ・課題を知り見通しを持つ 九九は使えるのか 図、式、言葉で表す。
- ・自力解決をする 具体物(おはじき)用意
- ・学び合う(3人組→全体)

学び合いの中で

教師が「友だちの考えは同じか、違うか考えながら聞いてください。違う場合はなぜそうなるのか尋ねること。聞かれた場合はわかるように説明すること」を指示したのがよかった。



「3こずつだと4人に分けられるけど、一人だけ2個になる。その2個を考えなくちゃいけないんだけどそれが分からない。(2個の人は分けられたというのかどうか)(答えはわかっているが、同じ数ずつの重要性がもう少しなのか?)」

「14には $3 \times 4 = 12$ より $3 \times 5 = 15$ の方が近いのなぜ5を立てないのか」

(答えはわかっているが、4人にわけて2個余ると5人にわけて1個たりないの状況にとまどっている?)

- ・全体でまとめる

教師が 3×3 とか 3×5 とかがダメなのはなぜか問い返して3人組で話し合い

わり算では同じ数ずつ分けるといふことでのときは、余るのは良いが、足りないのはうまくないことを考えることができた。

日常では、3個ずつ4人に分けて、もう1人に2個で我慢してもらおう。という場面もありうる。そんな疑問が出たのも3人組の話合いを入れたからだと思う。

※最近の先生方の授業を見て改めて深い学びをするためには主体的で対話的な学びが必要だと実感しました。グループでの話し合い、学び合いを取り入れていきましょう。

[目次に戻る](#)

6月22日(水) 5年1組 国語 「町じまんをすいせんしよう」の授業です。

教師のねらい

- ・児童が主体的に話し合い、自分たちで作り上げる授業がしたい。
- ・授業中に「話しを聞いているだけ」という状況をなくしたい。
- ・話し合うことに慣れ、「話せる」「話し合える」大人に育てたい。

本日の課題

「町じまん」をすいせんするために、聞く人に納得してもらえるような話し方、プレゼンの仕方をみんなで考えよう。

授業の方法・流れ

- ・児童が司会となって、授業を進行していました。教師は司会の補助や時々話を挟むようにしているだけでした。



- 1 聞き手が納得できる話し方 (小グループで話し合い→全体の場で発表→まとめ(今回はなし))
- 2 聞き手が納得できる構成 (小グループで話し合い→全体の場で発表→まとめ(今回は時間切れで次回持ち越し))

授業を通して(感想)

- ・教師が話している時間が少なく、子どもたちの話している時間が多かった。
 - ・授業の司会や進行を児童に任せているので児童が主体的に取り組むことができた。
 - ・小グループなので臆することなく意見が言えていた。(全員の発言)
 - ・教師の「どうなったら、聞き手が納得したことになる？」との発言でゴールをイメージさせることができた。
- 児童からの聞き手の反応でわかるのではということで「オースゲー、なるほどね、うらやましい、行ってみたい、自慢したいな」などが出ればよいこととなった。

児童の感想

- ・話し合ったり、司会ができたり、今までできていなかったことができるようになった。
- ・司会の意見を聞いているのが楽しい。
- ・少人数の話合いなので、間違えてもそんなに緊張感がなく楽しい

[目次に戻る](#)